

事務事業名	都市結核対策委員会参画事業					☐ マニフェスト関連		☒ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
施策名	22	義務教育の充実				所属係	学務指導班	課長名	合志良一
基本事業名	83	体育の推進				担当者名	佐伯幸治	電話番号 (内線)	
予算科目	会計 01	款 10	項 01	目 03	事業	法令根拠	結核予防法		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 都市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見や、患者発生時の素早い対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるようにする。 (業務の内容) ○学校における結核検診の実施状況・結果の把握 ○患者発生時に関係機関と協力し対策を検討 ○精密検査対象児童生徒の管理方針の検討(精密検査や経過観察の指示等に関する専門的検討) ○地域と連携し、学校の結核管理方針を検討する。 メンバー(菊池保健所長・結核の専門医(2名)・学校医代表(1名)・医師会代表(1名)・学校保健会代表・養護教諭部会長・会長) (予算の内訳) 負担金補助及び交付金						総投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
								事業費計 (A)	0
								正規職員従事人数 延べ業務時間	
								人件費計 (B)	0
								トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

都市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活をおくることができるようにした。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

○H18年度に同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

各小中学校養護教諭

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

学校における、児童生徒の結核予防・早期発見ができるようにする。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

健康な体になる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 結核対策委員会開催回数	回
イ 養護教諭部会開催回数	回
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 各小中学校養護教諭	人
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 各学校における結核予防対策が十分になされていると感じる養護教諭	%
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 体力テスト結果で、A〜Cと判定される児童生徒の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0	0	0
			都道府県支出金	千円			0	0	0	0	0
			地方債	千円			0	0	0	0	0
			その他	千円			0	0	0	0	0
			一般財源	千円			38	38	38	38	38
	人件費	事業費計 (A)		千円	0	0	38	38	38	38	38
		正規職員従事人数	人			3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間			42	42	42	42	42	
		人件費計 (B)	千円	0	0	167	167	167	167	167	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	205	205	205	205	205
活動指標	ア	回									
	イ	回									
対象指標	ア	人			12	12	12	12	12	12	
	イ										
成果指標	ア	%			未把握						
	イ										
上位成果指標	ア	%									
	イ										

事務事業名	郡市結核対策委員会参画事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

郡市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるようにこの事業が始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

変化なし

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 学校における、児童生徒の結核予防・早期発見ができるようにすることは、子どもの健康を守ることにつながり、義務教育の充実という政策体系に結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 義務教育対象児童生徒の健康に関することであり、義務教育を充実させるためには学校設置者の市が行うのは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 対象・意図は現在のもので妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 より効果的な全児童生徒の結核対策管理方針等さらに郡市の関係者の情報交換、研修等を進める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応などができなくなり、児童生徒が安全・安心な学校生活を送れなくなるので、廃止・休止の影響は大きい
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 他に類似事業はない ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 必要最小限の負担金支出であり削減の余地はない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 必要最小限の業務時間であり削減余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 この事業により一部の個人又は団体が利益を得ることはない

合志市

事務事業名	郡市結核対策委員会参画事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

郡市管内における全児童生徒の結核対策管理方針について検討し、児童生徒の結核感染の早期発見とともに、患者発生時のすばやい対応など、児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるようにすることは、義務教育の充実には必要不可欠であり、今後も結核対策管理体制や早期発見体制等の整備に努めるものである。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

対策委員会のさらなる効率的・効果的な運営を行う。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 対策メンバーの意思疎通・共通認識を高める

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項